

Contents

日本文化ふれあいの会	1	外国人による日本語学習発表会	5
オルレアン市への青少年派遣事業	2	七五三着物着付け体験	6
姉妹都市のワインとボジョレ・ヌーヴォーを楽しむ会	3	日本料理教室、ペルー料理教室	7
世界の絵本を楽しもう！！	4	お知らせ 国際交流サロン、令和6年能登半島地震災害義援金など	8

日本文化ふれあいの会

実行委員長 荒井 拓也

2025年2月16日（日）、宇都宮市役所14階大会議室にて、令和6年度日本文化ふれあいの会が開催されました。

まずは実行委員長である私の開会の挨拶で始まりまして。改めて挨拶する内容を振り返ってみると、まだまだ未熟な私には今まで続けて開催してきた皆様に感謝の気持ちを述べるくらいしかできないとの想いでした。

ステージ演目は、着付け披露でスタートしました。3種類の着付けの仕方が披露されました。確かに着付けと一言と言っても、やる内容はそれぞれ全く別物なので覚えるのは大変なもので、それ故に着付け教室とかが存在するものなんだと実感したところです。



続いては太鼓の演奏と体験でした。

リズムよく太鼓の面を叩いたり、端の部分を持ち付ける様子は、日頃鍛錬を積んでいるのが素人目にもよく理解できるものでした。そんな様を見て体験をやってみたいという親子連れが列をなしていました。



その体験会の間に、周辺の催し物を見て

回りました。私自身は実行委員長という立場もあり、体験に参加しなかったのですが、茶道・ミニぞうり・絵手紙・書道・華道・ちぎり絵・宮染め（展示）を楽しんでいる様子、また、栃木米のおにぎりの試食に舌鼓を打つ人々の姿を見て取ることができました。



ステージ演目は、外国人スピーチに移り、スピーチの内容は、とても素晴らしいものでした。観客の中には「私もスピーチしたい」という外国人がいたほどでした。

次の演目は祭囃子でしたが、私はその時は裏方の手伝いに出ていたり、その次の演目で、花嫁行列と長持ち唄の担ぎ手となった事もあり、見ている余裕はありませんでした。

花嫁行列は、私は開催日当日に長持ちの担ぎ手に抜擢されたこともあり、あれよあれよという気持ちで事が進みました。美しく着飾った着物姿の美しさは言わずもがなと言ったところでした。

その次の演目は、津軽三味線の演奏と日本空手、中国武術という複雑そうな演目でしたが、内容としては、ちょっとした小芝居を含めて楽しめるものでした。

最後は沖縄伝統芸能エイサーの演舞でクライマックスを迎えることになりました。午前中の太鼓の演奏とはまた違うもので、パフォーマンスを含めて毛色の違う迫力を感じることができ、会場のお客さんも参加し、一緒に盆踊りのようにぐるっと一周回してフィニッシュとなり、最高の盛り上がりとなりました。



副実行委員長の閉幕の挨拶にて閉会となりました。また来年も大きなトラブルもなく会を執り行えることを願うばかりです。

オルレアン市への青少年派遣事業

実行委員長 大塚 初恵

オルレアン市への青少年派遣事業は今年で25回目となります。宇都宮市とオルレアン市が姉妹都市として提携した1989年以来、交流事業のメイン事業として、宇都宮市が計画し、オルレアン市当局のご理解、ご支援をいただき、実施している事業です。

派遣期間は、2024年11月15日から11月22日の8日間で、今回の派遣生募集人数10名のうち、広報での派遣生募集への応募者は21名でした。面接の結果、10名の派遣生、引率者2名（市職員）が決定し、引率者への説明、保護者を交えての事前説明会を経て、全5回の研修会を実行委員会が担当し、研修内容につきましては、毎回実行委員会で話し合い、創意工夫して行われました。

宇都宮市役所特別会議室で結団式も行われ、酒井副市長への挨拶では、派遣生が力強い言葉を述べ、副市長のリクエストに答えて、オルレアン市のグロロ邸での歓迎レセプションで披露するフランスの歌「オー・シャンゼリゼ」をフランス語で元気に歌いあげ、滞りなく式を終えることができました。



結団式で副市長と記念撮影

オルレアン大学への留学経験を持つ方と、海外旅行で豊富なホームステイ経験を持つお二人が引率者でしたので、それぞれの知見が派遣生にとって大きな助けとなりました。



前年度派遣生との懇談

ホームステイ先では、フランス語は挨拶程度で、会話の多くは英語だったようです。帰国後はフランス語をもっと勉強して、再度オルレアンを訪れたい、派遣生全員の気持ちが伝わりました。



実行委員による講義



研修会の一コマ



事前研修会「ホームステイについて」

派遣生が笑顔を絶やさず、楽しいホームステイを体験できたのは、大きな成果だったと思います。

今年の滞在プログラムにはパリ観光も組み込まれ、楽しい充実した時間を過ごしたようです。

派遣生の皆さんが、この経験を大切にして感謝の気持ちを忘れず、未来に羽ばたいて欲しいと願います。

私達「楽しい姉妹都市交流委員会」も、オルレアン市に訪問することも検討しております。実行委員会ではいつでも委員を募集しております。

すべての皆様に感謝いたします。お読みくださり、ありがとうございました。



事前研修会「歌の練習」

姉妹都市のワインと ボジョレ・ヌーヴォーを楽しむ会

実行委員長 本間 勝男

今回は、コロナ終息後、昨年に引き続き「姉妹都市のワインとボジョレ・ヌーヴォーを楽しむ会」を栃木県青年会館コンセーレで、2024年11月21日（木）に開催しました。今回は、前回と違い、殆どの方がマスク着用なしで参加されました。

前回までの「姉妹都市のワインとボジョレ・ヌーヴォーを楽しむ会」の会場は、JR 宇都宮駅周辺のホテルでしたが、今回は、駅周辺のホテルの確保が難しく、初めて郊外のコンセーレに会場を変更しました。

前回よりも参加人数は減りましたが、それでも50人が参加し、ワインは勿論、宇都宮出身のシャンソン歌手の倉井さんも昨年に引き続き演奏があり、実行委員が集めた抽選会もあり、大いに盛り上がりました。



和久理事長の挨拶でスタート



えびさわさんと倉井さんのステージ

特に、抽選会はハズレ無しなので、皆さんに景品が当たり、参加者の景品（ワイン等）が当たった時の笑顔や歓声が印象に残りました。

今回も前回同様、会場内に姉妹都市の紹介写真パネルや姉妹都市派遣事業の研修の写真パネルも展示しました。たくさんの人に見てもらい、改めて、姉妹都市交流委員会の活動を理解し、知ってもらったと思います。

今の時代、日本は勿論、世界も不安定で、先が見えない時代だからこそ、「姉妹都市のワインとボジョレ・ヌーヴォーを楽しむ会」を開催できたことは意義があったと信じています。

各テーブルごとに、ワインを飲みながら、自己紹介したり、名刺交換したり、世代や職種の違う人たちが集う「姉妹都市のワインとボジョレ・ヌーヴォーを楽しむ会」は、国際交流という名の下で、異業種交流会として、定着しつつあると感じました。

最後に、皆様に喜んでもらったこと（アンケート結果による）は、開催して良かったです。



参加者全員に景品があたった抽選会



歓談の様子



姉妹都市紹介パネルをバックに



丸山実行委員の音頭で閉会

世界の絵本を楽しもう！！

実行委員 熊倉 シゲ子

「世界の絵本を楽しもう!!」は、2024年11月17日（日）、13:30～15:30まで、宇都宮市立東図書館2階集会室において開かれました。

世界の絵本や文化を紹介するこのイベントは、絵本を通して、世界にはいろいろな言語があること。その国に伝わる話を題材にした絵本や、暮らし、食生活といった文化が垣間見えることもあります。日本の絵本とは異なる色使いや絵柄のものも多くあります。

15回目を迎えた今回は、フランス、インドネシア、アメリカの3か国でした。ネイティブの方に、それぞれの国の生活の様子、料理など紹介があり、いよいよ絵本の読み聞かせです。



フランス絵本



インドネシア絵本



アメリカ絵本

フランスの絵本「うんちっち」、兎の子がいう言葉は、ただひとつ。いつでもどこでも「うんちっち」。それがあるとき…。

インドネシアの絵本「水上マーケットの謎」、川の上の市場の様子や、そこで起こるストーリー展開は、インドネシアならではの文化や風習がたくさん詰まった絵本。

アメリカの絵本「ねこのピート」、ピートが白い靴をはいて歌を歌いながら歩いていると、いちご、ブルーベリー、泥の上を歩いて…絵本で英語のリズムを楽しみました。

今年の参加者は50名と例年に比べ、少なかったことは残念でしたが、民族衣装の紹介、展示コーナー、クイズ、ネイティブとの交流等楽しんでいただきました。チラシの工夫、PR方法等次回に向けて改善したいと思っています。東図書館のご協力に感謝いたします。



展示コーナー



前かがみになって行うフランスの遊び



実行委員・ボランティアの皆さん

第4回外国人による日本語学習発表会

実行委員長 北村 康夫

外国人による日本語学習発表会は、日本語教室で日本語を学ぶ外国人が日頃の学習の成果を発表する場であると同時に、様々な国の人々が相互理解と国際交流をする機会として開催しています。

今回は第4回目の開催となり、2024年11月10日（日）に開催しました。発表者は6人と例年に比べて少なめでしたが、国際交流プラザ懇話室には、発表者の友人や日本語教室の支援者など多くの人が集まりました。

フィリピン出身の女性は、「日本に来た当初はとても不安だったが母親に助けもらった。今は日本の文化を受け入れることが財産になると考えている。」と話しました。

台湾から来た男性は「イタリアを旅行していた時に言葉の壁を感じた。その後日本に来て日本語を勉強したが、助詞の『は』の読み方や敬語の使い方など日本語は難しい。」と発表しました。

今回の発表会で、日本に住む外国人の日本語や日本文化に対する不安や期待を知ることができました。

宇都宮市国際交流協会の日本語教室では、入門から上級までさまざまなレベルの受講者が楽しく日本語を勉強しています。

言葉の勉強のみならず、各国の文化の違いや共通点を話し合ったり、日常生活の情報交換などもしています。今後も日本語学習発表会や日本語教室の活動を通じて、日本人も含めた各国の人々に、交流の場を提供していきたいと考えています。（発表者の国籍とタイトルは下記参照）



発表者の集合写真



台湾
「私のこと」



フィリピン
「日本に来て」



フィリピン
「日本での新しい生活」



インド
「私の日本のけい
けんについて」



フィリピン
「アニメーションの
進化の旅」



台湾
「日本語を学んで
人生が変わった」

七五三着物着付け体験

実行委員 中坪 良子

11月に入ると各地の神社で七五三参りの微笑ましい姿が見受けられます。

県内外国人家族から「日本の子どもたちと同じ七五三行事を体験したい」との強い要望があり、日本文化委員会では、外国人支援者ネットワークと共同で外国人に着付けの日本文化を体験していただこうと、2022年に第1回七五三着物着付け体験をスタートしました。

2024年11月4日（月・祝日）に第3回七五三着物着付け体験を行いました。

ブラジル、スペイン、モンゴル、ベトナムの7家族19人（男児5名、女児7名、大人7名）が参加しました。着付け後、揃って二荒山神社へ行き、参拝をし、記念写真を撮り、子どもたちは、境内を駆け回り、時間を忘れるほど楽しんでおりました。

参加した方たちからは、「きもの好き」、「また着たい」、「楽しかった」、「よい思い出になりました」等のコメントをいただきました。

これからも、多くの外国人の子どもたちに日本文化を体験していただきたいと願い、このような行事が長く続けられることを期待しております。



日本料理教室

参加者 坂本 ベアトリス

2024年12月8日（日）、日本料理教室を宇都宮市総合コミュニティセンター料理実習室で開催し、外国人11人、日本人10人の合計21人が参加しました。参加者の方に感想を書いてもらいました。

日本料理に参加できたことにとっても感謝し、幸せでした。

例年、私は、日本人が1月1日に朝食として食べる料理をすべてインターネットで調べて準備していましたが、先生たちのおかげで、料理の小さな秘密を学ぶことができました。家では、みんなが美味しいおせち料理を満足していました。ありがとうございました。



ペルー料理教室

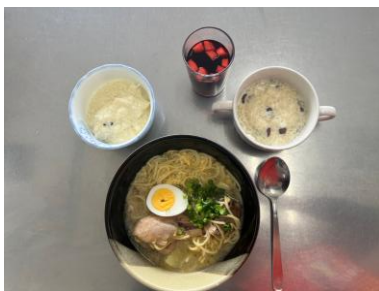
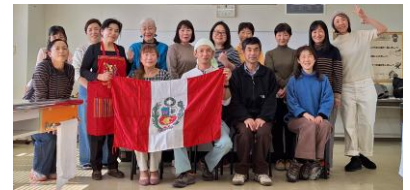
【講師】 坂本 ベアトリス

2025年1月25日（土）、宇都宮市総合福祉センター料理実習室でペルー料理教室を開催しました。

それは素晴らしい経験でした。とても美味しかったカルド・デ・ガジーナ、アロス・コン・レチェ（レーズン入りとココナッツ入り）の2種類です。

そして飲物のチチャ・モラダも作りました。参加者は15名で、そのほとんどがスペイン語を長く勉強しています。日本は寒い季節だったので、寒さ対策にもなり、栄養価の高いスープを作りたいと思いました。

とても簡単に作れるレシピで、特においしいランチを楽しんだ参加者の方々の手の届く範囲にあります。参加者全員がとても満足しており、それが私たちが継続する原動力となっています。最後にイベントの開催を許可し、主催して下さった宇都宮市国際交流協会に感謝いたします。ありがとうございました。



【参加者】 Michiko Yamawaki

1月25（土）の朝、ワクワクしながらスペイン語教室のベアトリス先生の料理教室に参加しました。今回のメニューは、ペルー料理のカルド・デ・ガジーナとアロス・コン・レチェとチチャ・モラダです。1テーブル5名で3テーブル15名の生徒が、先生の指導の下、カルド・デ・ガジーナを作りました。ガジーナとは、卵がお腹に入っている雌鶏だそうです。日本では手に入りにくいので、普通の鶏を一羽切り分けて使いました。いつもは既に切り分けたのを使っていたので、このような体験は滅多にしません。

アロス・コン・レチェは代表の人が全員分を作ってくれました。なので、私は家でも作ってみました。教室では、練乳と砂糖がたっぷり入っていたので、少し甘すぎたので、私は練乳を入れず、砂糖の量も減らしました。私には丁度良い甘さになったような気がします。チチャ・モラダは、ポリフェノールたっぷりで、酸っぱくて甘くて美味しいジュースです。ペルー料理、大好きです。ベアトリス先生はスペイン語と日本語で指導してくださいました。異文化を満喫して、ますます世界のことをたくさん知りたくなりました。

お知らせ

国際交流サロン

毎月第4土曜日 16:00~18:00

いろいろな国の人々が楽しく交流するイベントです。

◎参加費無料 ◎予約不要

詳しくはUCIAまでお問い合わせください。



令和6年能登半島地震災害義援金のご報告

当協会では、能登半島地震災害義援金を受け付けし、集まった義援金は、日本赤十字社に振り込みました。多くの皆様のご協力、誠にありがとうございました。

受付・振込金額：¥11,700円（2025年2月）

フェスタmy宇都宮2025
国際交流ひろば開催します

フェスタmy宇都宮2025国際交流ひろばが開催されます。当日は、ブラジル・台湾などの料理ブースが出店するほか、各団体の活動紹介ブースが出店しますので、多くの方のお越しをお待ちしています。

日時：2025年5月18日（日）10:00~15:00

場所：宇都宮城址公園

研修会・講演会等の『貸ホール・会議室』！
祝賀会・懇親会等の『ご宴会・Party』！
合宿・ビジネス・旅行等の『ご宿泊』！



お客様のご利用を一同お待ちしております！

コンセーレ

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1番6号
財団法人栃木県青年会館
TEL.028(624)1417(代) FAX.028(624)1843
http://www2.ocn.ne.jp/~concere/
E-mail:concere@olive.ocn.ne.jp

●● 広告募集について ●●

UCIAでは、定期的に会報誌を発行しています。広告掲載をご希望の方はUCIAへお問い合わせください。

- ◆ 費用 5,000円/回
- ◆ サイズ 6cm×8.5cm

ホームページでも、広告バナーを募集しております。詳細は、
広告バナーページ(<https://www.ucia.or.jp/advertisement.html>)をご覧ください。

- ◆ 費用 3,000円/月
- ※ 3か月から掲載可能です。

2025年3月20日 第72号
編集・発行 NPO法人宇都宮市国際交流協会
〒320-0026 宇都宮市馬場通り4丁目1番1号
うつのみや表参道スクエア5階
国際交流プラザ内
Tel: 028(616)1870 Fax: 028(616)1871
受付時間: 10:00~19:30
E-mail: ucia@ucia.or.jp
URL: <https://www.ucia.or.jp/>

UCIA会員募集

会員になりますと、
以下の特典があります。

様々な国際交流の
ボランティアに参加
できます。

講座の受講料が割引
になります(一部の
講座を除く)。

定期的に情報誌を
お送りします。